

〔ふるさとの宝No.6〕

イザナミの

「ミコトさん」のいっ

阿井には、神様の名前そのままの地名がある。それが上阿井のイザナミである（伊弉冉とも書かれているが、再は冊の俗字でサクである）
何時の頃から付けられたのかは不明である。伝えるところによれば、昔々イザナミ尊（古事記では伊邪那美尊）が阿井においでになったがためにその名がつけられたとか、これは神話伝承の領域である。
イザナミノ尊が祀られているのは、イザナミの谷を入れて旧中西宅を程なく上がると道の左脇に一間半に二間半位の拝殿がある。昭和七年に建立されている。

この拝殿の前から、いわゆる「愛宕道」をしばらく登ると山の急斜面に巾約三メートル、奥行約二・五メートルの岩の洞窟が口を開けている。大人でも身体を小さくすれば十人は入るかもわからない。これが尊さんを祀った「ミコトさん」である。岩窟の中央に写真の如くに御神体がお祀りしてある。

この「ミコトさん」のお祭りは、現在イザナミ〔冊〕集落の深田氏西村氏のお世話で、毎年六月の一週



目の月曜日に、大原神社の後藤宮司さんを迎えて行われる。湯立神事、一連の祝詞のあと参加者の榊奉納、最後にお神酒をいただく。そのあと参加者がお弁当での直会をしてお祭りはおひらきとなる。

当日は、猿政山みとの会をはじめ、賛同する諸氏の参加でにぎやかな祭りになっている。

なお、このイザナミの奥には「枕がえし」「御成松」「めおとぐり」などの地名ものこっている。又内尾谷奥猿政山のふもとにも岩窟の「ミコトさん」が祀られていることを付け加えておく。

